

科目名	現代社会	学年	1年	コース	全	単位数	2	担当者	
-----	------	----	----	-----	---	-----	---	-----	--

1 目 標

現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 到達目標

現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を設け、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚する。

現代社会について社会的、経済的、政治的及び国際的な観点から理解する。

青年の生き方、経済活動の在り方、民主社会の倫理、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方などについて考える。

3 成績評価の方法

定期考査、提出物、授業への出席状況や授業態度等を総合的に評価する。

4 学習者へのメッセージ

「現代社会」は、現代社会について、自己とのかかわりに着目しながら主体的に課題を設け、「問題の本質は何か」、「何をすべきか」、「何ができるか」を追究し、現代社会の理解とともに、その時代の中で生きる人間としての在り方生き方を考えるという科目です。

世の中は常に変化しています。現状を常に的確に把握し、主体的に課題を設けるためにも、マスコミ各社のニュース・新聞は毎日必ず見てください。その際に1社だけでなく、できれば2社以上見てください。マスコミ各社により問題・事象へのアプローチの仕方が異なります。数社見ることにより多面的にとらえることができ、将来的に小論文を書くに当たり必ずプラスになります。

副教材の資料集にもおもしろい情報がたくさん掲載されています。頻繁に目を通してください。「問題の本質は何か」、「何をすべきか」が自然と見えてくるはずです。

5 使用教材

教科書 「高等学校 現代社会」(第一学習社)

副教材 「 」()

6 自己評価

1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう。

到達目標 [] [] []

課 題

A : 十分達成できた。

B : だいたい達成できた。

C : 努力が不足した。

7 授業計画

月	単元(章・節など)	重点目標
4 5	科学技術の発達と一人ひとりの生命 少子高齢社会 高度情報社会 青年期の意義と自己形成の課題 現代社会における青年の生き方	生命の考え方が科学技術の発達によって変化し、どのような課題に直面しているかの追究 少子高齢化に伴う社会の変容・課題の理解 伝達技術の高度化による社会変化の影響の理解 心理的社会的自立の重要な時期であることの理解 自己理解を深め、いかに自己実現を図るかの追究
1 学 期 中 間 考 査		
6 7	技術革新の進展と産業構造の変化 企業の働き、市場経済のしくみ 政府の経済的役割と租税の意義 金融機関のはたらき、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全 消費者問題と消費者主権	産業構造の変化・動向についての理解 地域経済の発展に寄与する社会的役割の理解 租税中心の公的負担の意義と必要性の理解 資金を安全かつ有効に仲介することの理解 社会変化から雇用と労働問題の動向の理解 行政・企業・個人の責任ある行動の必要性の理解
1 学 期 期 末 考 査		
9 10	世界の経済体制の動向 貿易の拡大と経済摩擦 発展途上国の経済と南北問題 国際協力と国際組織の役割 民主政治における個人と国家 基本的人権と法の支配 日本国憲法の基本原理 平和主義と日本の安全 基本的人権の保障と新しい人権 裁判所と人権保障	市場経済が優位を占めてきていることの理解 経済問題が外交問題となり経済摩擦発生への理解 先進国の経済協力の在り方についての考察 国際連合などの国際的機構・NGOの活動の理解 主権者としての在り方を政治参加との関連で考察 国家権力と人権保障との関係について考察 憲法の基本理念とわが国の安全が世界平和の維持と不可分さの理解 人権保障充実発展が民主政治の究極の目標を理解
2 学 期 中 間 考 査		
11 12	国民主権と議会制民主主義 内閣と行政の民主化 地方自治と住民の福祉 世論形成と政治参加 今日の国際社会 国家主権と国際法 国境と領土問題 地域紛争と人種・民族問題 国際連合の役割 核兵器の廃絶と国際平和	議会制民主主義の意義、多数決の在り方の理解 政治参加は国民の重要な権利であると同時に義務であることを間接民主政治の在り方と関連させつつ理解 国家主権の対等性と国際間の秩序を作り出す国際法の意義の理解 平和的解決に向けて継続的な努力の必要性の理解 固有の文化を尊重する態度の必要性の理解 国連を中心とする軍縮への取り組み理解と核兵器開発などが国際社会に及ぼした影響の理解
2 学 期 期 末 考 査		
1 3	日本の安全保障と外交 日本の役割と私たちの生き方 人間の尊厳と生命の尊重 自由な社会に向けて 平等な社会に向けて	わが国が国際社会の平和と安全にどのような役割を果たし貢献し得るかという観点から考察 生命の尊重は最も大切な価値であり、個々人の生活や現代社会のあらゆる仕組みの中にいかさなければならないことへの理解
学 年 末 試 験		

